

つるた町民ライブラリー



コロナ禍で様々な活動が制限される昨今。この企画では、「ヒト・モノ・コト」を繋げるため、私（地域おこし協力隊：川口）が、鶴田町で活動する「人材=人財」（個人・企業・団体）をピックアップして「よそ者」目線で人物像を掘り下げ、不定期でご紹介します！

今回は鶴田町の建築会社ヤマノアーキデザインの代表取締役の工藤晃史さんにお話を聞いてきました。

VOL.10

株式会社 ヤマノアーキデザイン 建てる時も、建てた後も 楽しい家づくりを



株式会社
ヤマノアーキデザイン
代表取締役
工藤 晃史

お客様と二人三脚 共に楽しむ“家づくり”

ヤマノアーキデザインさんのお仕事について教えてください。

主に住宅の設計、施工です。他にも個人病院や美容室、飲食店などの店舗も手掛けてます。設計施工以外では不動産業や火災保険の代理店業務など、“建築”に関わることを主な事業としています。

ヤマノアーキデザインさんの家づくりの特徴を教えてください。

私たち、お客様にも家づくりを楽しんでもらいたいと考えています。そのためのおもてなしとサポートをしっかりと行い“実際にその家に住んでからも、引き続き楽しんでもらえる家づくりをしよう”と社員一同の目標として業務に取り組んでいます。私たちのパンフレットのキャッチコピーに「なんでそこまでやるの？」という一文があるのですが、これに対する答えが私たちの仕事に対する姿勢に現れるように努めています。

お客様の希望通りの家を造ることはもちろん大切なことなのですが、その希望をしっかり理解した上で、これまでの知識と経験から様々な方法を提案するように心掛けています。このやり取りを「なんでそこまでやるの？」というくらい重ねるからこそ、出来上がった家に住んだ時の楽しさや満足につながると信じています。

鶴田町を拠点に 時代やニーズに合わせて変化

鶴田町を拠点にしている理由を教えてください。

元々鶴田町が実家で、父がやまの工藤建設という会社を経営していました。私は青森市の地場企業のゼネコンに勤めていたのですが、父から会社を手伝ってほしいとお願いされたこと、デザインや設計を軸とした自分の会社をやってみたいという気持ちから鶴田に帰ってきました。鶴田に帰ってから10年ほど父の会社で勤め、その後現在のヤマノアーキデザインを立ち上げました。

ご自身の会社を立ち上げてから、なにか変化はありましたか。

技術的にも、体制的にも新しいことに取り組みましたので、様々な変化があったと思います。やはり技術に自信をもった職人さんたちを束ねる立場ですので、一丸となって変わっていく

のは大変でした。しかし、新しい技術の導入や現場でのふるまい方など、時代に合わせた変化が必要だと考えていましたので、苦労しながらも今の体制に整えていきました。

これから雪国において大切な家づくりの要素は何ですか。

たくさんあるのですが一つ取り上げるとすれば、“気密性”です。鶴田町は風の強い地域です。そういう地域の家で大切なのは“隙間がない”ことです。気密性が低いと、断熱材の隙間から外気が入り込み、結果として寒い家ができてしまいます。断熱性も気密性も大切なことなのですが“断熱”というのは断熱材を入れて設計すればできるのですが、隙間を無く造るのは大工さんにも技術と知識が必要です。ですので、私たちは社員も大工も気密性の大切さをしっかりと共有して仕事に臨んでいます。

家づくりの最初の一歩は 信頼づくりから

将来、マイホームを持ちたいと考える人に伝えたいことがあれば教えてください。

家を建てるときは工務店などの業者選びを悩む方も多いと思います。選ぶポイントも人それぞれです。例えば、営業の人に信用を置けるかどうか、提案される価格も予算内かなど。様々な要素がありますが、重要なのはその業者の特徴を理解した上で家づくりをすることだとお伝えしたいです。ヤマノアーキデザインでは“いえづくりキーノート”という自社の独自ツールを使いながら、お客様の希望と私たちの提案する内容の相互理解を深める取り組みをしています。具体的には、ヤマノアーキデザインのいえづくりのテーマ「デザインだけじゃないデザイン」でどのような設計、施工をしてるか、いえづくりの流れやお客様の声などヤマノアーキデザインのいえづくりへの想いをお伝えして、共感された方がお客様になっていただけます。完成した家を見学しただけで業者を決めるのではなく、どうのようないえづくりをしているか中身が重要だと思います。希望の内容や価格と、業者のもつ特徴があっているかを見極めることができ大切だとお伝えしたいですね。あとは、今住んでいる家に感じている不満を洗い出し、それを新しい家で解消することが建てた後の満足感に直結しますので大切にするといいと思います。

編 集 後 記

人の生活に欠かすことができない衣食住。今回はその“住む家”というお話を聞いてきました。雪国に大切な家の特徴や家づくりの大切なポイントなど、とてもわかりやすくお話ししていただきました。衣食住のどこかをないがしろにすると、Uターンや移住をしてきても後悔してしまうかもしれませんよね。新築の家を建てる機会というのは人生に何度も訪れるものではありませんが、住まいを選ぶポイントはUターン・移住希望者にも伝えていこうと思います。

ヤマノアーキデザインさんの家づくりに対する気持ちはとても真摯なもので、ヤマノアーキデザインさんだからこそ行えるお客様への接し方や寄り添い方は心に響くものがありました。このコーナーで様々な方にお話を聞くたび、鶴田町を誇らしく好きになる自分を発見します。読んでくださっている皆さんにもこの感動が伝わるように私も頑張っていこうと思います。

株式会社 ヤマノアーキデザイン

代表取締役：工藤 晃史

〒038-3524 鶴田町大字境字北原73-24

TEL : 0173-22-6789 MAIL : info@yamano-archi.co.jp